

発行所  
医療法人財団五省会西能病院  
〒930 富山市五福1130  
TEL (0764) 41-2481(代)  
発行人 西能 正一郎

# 五省会ニュース

五省  
一 至誠に悔むなかりしか  
一 言行に恥づるなかりしか  
一 氣力に致さるなかりしか  
一 努力に憾みなかりしか  
一 不精に怠るなかりしか

## 患者さんに親切、感心した

西能病院で、中国医科大学から派遣された医師が、整形外科の研修に励んでいる。同大学第一附属医院整形外科教室講師、医学博士、金明熙(シム)さん(四一)。西能病院が、同大学から留学研修の依頼をうけて招いたもので、日中友好に役立てようと、来日費や滞在費にもひと肌ぬいだ。研修は二カ年の予定。中国医科大学は、富山県と友好関係を締結している遼寧省の瀋陽市(中国では沈陽)にある。

## 無菌手術室、とても清潔

### 中国医師が西能病院で研修留学



無菌手術室を見学する金さん(中央)

## 原稿の種がないままに...

西能 正一郎

## 時代が求める幅広い視野

### テーマが心配で、胸がチクリ

隔月ではありませんが、五省会ニュースを出すようになって五年半の歳月が経ちました。昨今は、一面で私の担当しております随筆のらんを書く種がなく困っております。原稿を印刷所に送る朝になっても、何を書けばいいのか決まらないうです。苦心惨たんしてやっと思き上げ、ホッとすると、すでに次の号のテーマが心配で胸がチクリとします。あれを書こうか、これを書こうかと迷うような状態ではなく、何を書こうかと思つているうちに二カ月が経つてしまふ、同じような苦しみ味わうということの繰り返しであります。

隔月ではありませんが、五省会ニュースを出すようになって五年半の歳月が経ちました。昨今は、一面で私の担当しております随筆のらんを書く種がなく困っております。原稿を印刷所に送る朝になっても、何を書けばいいのか決まらないうです。苦心惨たんしてやっと思き上げ、ホッとすると、すでに次の号のテーマが心配で胸がチクリとします。あれを書こうか、これを書こうかと迷うような状態ではなく、何を書こうかと思つているうちに二カ月が経つてしまふ、同じような苦しみ味わうということの繰り返しであります。

世の中のことに反応が早く、ついつい世間知らずになつていく人種でありますから、そんな特殊人間が、わかつたような顔をして、文章を書き続けようとする発想自体が世間知らずであつたことに気がついても、後の祭りです。殊に私には趣味というものが、ないわけではなく、その昔はあつたのですが、開業してからは、二十二年余り、とても医業以外のことに心や、時間を割く器用さがなくなりました。友人達が語り合つて

金さんは四月十九日、大阪空港着、二十日、富山入り。二十一日から西能病院で研修に。主な勉強は、脊椎の疾患、腰痛、関節痛などの診断、治療を学ぶこと。ほか、手術、外来診察、同大学の整形外科部門での国外留学は金さん一人だけ。同大学が西能病院に留学を依頼してきたのは、西能病院が日本の中でも優れた整形外科の専門病院であることが認められたからだといふ。ほかの部門で、現在同大学から外国に留学しているのは、日本人、アメリカ人五人、西ドイツ、ソ連各二人(推定)。(金さん連名)と推定。金さん、西能病院にきて、最初に感じたことが一つあります。それは、先生や看護婦さんが、患者さんに、とても親切なことだ。

診察のとき、先生は、①時間をかけて、自分の手で、いろいろと、しんげんに診ている。②くわしく説明し、こまかく注意している。私は、西能病院だけしかみていない。ほかの病院のことを知らない。中国の病院でも、親切を心掛けていたが、これまでは達していない。もう一つ、無菌手術室が、とても清潔なことに感心しました。

## あすなろ

富山も爽やかな夏に入った。北陸の春は短い今年はいろいろなことがあつた春だ。国内では東京サミット、テロ騒ぎ、円高ショック、海外では米国のリビア空爆、ソ連の原発事故、といつて暗いことばかりではない。美しいフアッションにテレビ画面を色彩つた英国のダイアナ妃。それにもまして県民を興奮に巻き込んだ明るい話題は甲子園「センバツ」での新湊高校の活躍だった。その余韻(いん)は今も続いている。先日も兵庫の二十六歳の主婦の手記がA紙に載つていた。新湊高出身。高校時代は落ちこぼれ組だったが一歳十カ月の子と甲子園に通つて勝利に乱舞した。夫もその間は外食で我慢してくれたとある。最も印象に残つたのは享栄との第一戦という人が多い。酒井投手も「忘れられぬのは初戦の勝利と享栄の近藤を三振にとつた時」といつている。雑誌「高校野球」6月号に「一回戦のアンケート」を載せているが、一番印象に残つた「試合」は「新湊対享栄」。「選手」は「酒井投手」がダントツ一位だった。一人ひとりが純情で素直で素朴。しかも団結して燃え上がった。雪国新湊。チームの活躍がどれだけ国民の心を明るくしたとだろう。先入感を持つてはいけない、だれでも力の限り尽せば驚くほどの潜在力が湧き出て姿を一変させることも教えてくれた。

## 医療福祉制度の手引き

富山も爽やかな夏に入った。北陸の春は短い今年はいろいろなことがあつた春だ。国内では東京サミット、テロ騒ぎ、円高ショック、海外では米国のリビア空爆、ソ連の原発事故、といつて暗いことばかりではない。美しいフアッションにテレビ画面を色彩つた英国のダイアナ妃。それにもまして県民を興奮に巻き込んだ明るい話題は甲子園「センバツ」での新湊高校の活躍だった。その余韻(いん)は今も続いている。先日も兵庫の二十六歳の主婦の手記がA紙に載つていた。新湊高出身。高校時代は落ちこぼれ組だったが一歳十カ月の子と甲子園に通つて勝利に乱舞した。夫もその間は外食で我慢してくれたとある。最も印象に残つたのは享栄との第一戦という人が多い。酒井投手も「忘れられぬのは初戦の勝利と享栄の近藤を三振にとつた時」といつている。雑誌「高校野球」6月号に「一回戦のアンケート」を載せているが、一番印象に残つた「試合」は「新湊対享栄」。「選手」は「酒井投手」がダントツ一位だった。一人ひとりが純情で素直で素朴。しかも団結して燃え上がった。雪国新湊。チームの活躍がどれだけ国民の心を明るくしたとだろう。先入感を持つてはいけない、だれでも力の限り尽せば驚くほどの潜在力が湧き出て姿を一変させることも教えてくれた。

### 痴呆老人の問題

医療相談室でも、最近、痴呆老人の相談をうけることがあつて、今までは元氣だった老人が病気になる病院という突然の環境の変化で一時的に痴呆状態になるというものはよくありますが、その状態が継続し、家庭でほとほと手をやいている場合が多いようです。痴呆の症状にもいろいろありますが、徘徊する、便をいじくる、被害妄想が強いなどの場合は、家庭での介護が困難で施設や病院に、たよりたいたい声も聞かれます。

### 老人病院

一般病院では、痴呆老人を受け入れるのが困難な場合が多いのですが、老人病院の中には受け入れてくれる所もあるようです。役所の老人福祉担当とよいでしょう。老人病院を利用するのは、特別養護老人ホームを希望するが入所できない、他に病気があり治療が必要だ、本人や家族が老人ホームを嫌がる場合などがあります。比較的多くの痴呆老人を受け入れている病院を選ぶのが賢明でしょう。

### 精神病院

家族や他の人との共同生活に耐えられないといった症状の人が以前は精神病院を利用していましたが、最近では、痴呆老人の理解が深まったためか、精神病院への収容は少なくなる傾向にあります。一口に、痴呆といつても、改善の可能性のあるものとないものがありますので、精神科の専門医の診察を受けることが大切です。県精神衛生センターでは痴呆性老人健診を行なつておりますので、センターの精神科医が診察、検査、介護指導を公費で行なつてくれます。又、富山県保険医協会でも、「ほけと医療」の電話相談を行なつておりますので、利用されるよいでしょう。

### 老人問題百問百答

以上、痴呆老人の問題は、家族にとつては大変なことですが、一人が悩まず、相談機関を利用して適切な方法をとることが必要です。「老人問題百問百答」参照 (医療ソーシャルワーカー 高村美和子)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

# 美しいものが 見えてきた

松下英勝

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今日、四月十二日、久しぶりの快晴、窓外間近かに見える高崎山を眺めながら便りを書いてます。四月九日は宇佐八幡宮へ「お花見」のバスピクニック。春のスタートに皆、喜びを表わして喜々とするも、目的地に着く直前からの雨で、宇佐神宮駐車場のバスの中で弁当当を食べました。釘づけで降りることも叶わず、昼食をとって、そのままセンターに戻り、「お花見」は終わりました。でも楽しかったです。

センターの桜も見事で古木が多いです。自分は夜明け前から車椅子でセンターの裏庭の小さい堤の周りを散歩しました。花卉の舞いと、地の花卉のジュータンに圧倒されました。そのすてきな花卉を同封します。病床の患者さんにも、別府の桜の花をみせてあげたいと



## 大地を踏む

富山市追分茶屋  
中島正 行さん(八八)

24

「いらつしませ」。八十八歳とは思えない、はつらつとした大きな声が店内にひびく。薬局と化粧品店の客といえど、若い人たちが多い。だが、少しも、おくれをとらない。「ベッドで寝てばかりおれませんか。店へ顔を出して、だれとでも話して。よく顔を知らせて。あれは、どこの奥さんとか、こちらは、どこの娘さんとか...」。

「だから、こんなに若返ったんだよ」と、いわんばかり。

正行さんは、五十九年六月ごろ、おばあさんの後で介添えをしていたさい、背中が突然コソンの痛くなった。それがもとで、七月末に両下肢がチクチクしびれ、歩行が

困難に。八月一日に西能病院に入院、第六胸椎を中心に腫瘍が認められ、胸椎マヨの切除術を行なった。六月八月末に退院した。一年一カ月の長い入院生活だった。

「わしが入院したあとを追って、おばあさんも入院、ベッドを並べてい

よくなった。一番の楽しみは家族との団らん。長女夫婦、孫夫婦、ひ孫二人(中学一年(女)小学二年(男))、それに分家した孫夫婦、ひ孫二人(小学校二年(女)六つ(男))の総勢十一人。長女の夫が薬局を、長女と、孫の妻の三

で、わしもダイアナフアンになつてしよう」と笑う。

おじいさんは、家の横の十ももあるという大石(写真)のところへ案内した。飛騨地内の神通川原から持ってきた。一つだけ残つてる思い出じゃ終戦まで手広く瓦製造工場を経営していた。工場敷地が三千四百坪もあったという。庭石が好きだったので、友だちの庭師仲間と集めていたので敷地内にゴロゴロしていた。

いまは、昔の面影は一つも残っていない。大石がポソソと一つあるだけ。そんな昔の遠い思い出よりも、おじいさんの頭の中は四人のひ孫のこと

思い、何とか工夫して、少しでも色褪せぬようにと、ビニールに少し空気を入れたまま封じたり...。何せ、頭も手指も不自由な松下が手作り?産地直送のビニールバック桜の花弁です。

先日、スポーツ用品の店の方が来られ、自分のスポーツ大会のユニホーム寸法を計っていかれます。

「人生のやり直しを」

教えてくれた「ハンゲル講座」

「学んで己れの無学を知ると、それを学ぶと言う」といつか感銘を受けて...

自分は、韓国語を勉強する最初は、88ソウルオリンピックに渡韓ノンランを右腕に...。体が傾いたら、体をまっすぐ元通りにするだけでも大変。それに車椅子から投げげる低い位置では遠くへ飛び

「わづかしか投げられぬのでは恥ずかしくて」の私の言葉に、「練習を積み重ね、参加することに意義」と励ます指導員。何とか頑張ります。

それから、ハンゲル講座は四月五日で丸一年になりました。一年を振り返って思うことは自分の頭の悪さ。でも、誰か

「ハンゲル講座」

自分は最近よくこんなことを考えます。小、中学校とも、ほとんど勉強もせず怠け者。世にでてチンピラ、警察、刑務所生活。神なんか何なのか、さっぱり判りません。

自分は「人」の生き方から外れていました。しかし、今は、何かが自分の人生の「やり直し」をさせてくれている。そ

## 地域の皆様へ、良い医療を

### 西能病院・新人19人紹介

西能病院は、新年度に十九人を採用、さらに「安定したよい病院づくり」を目指します。新人の十九人は「西能病院のモットーである『信頼と奉仕』を胸にきざみつけ、緊密なチームワークの下で、地域社会の皆さまに良い医療を提供していくよう心掛けていきます」と、決意をのべています。新人を紹介します。(職別、氏名、生年月日(昭和)出身校、出身地の順)

<p><b>医師</b></p> <p>伊藤 俊一 34・10・26 富山医科大学 東京都</p> <p>久保 睦夫 28・8・23 弘前大学 大沢野町</p> <p>番谷由美子 37・11・7 国立普通寺リハビリ学院 香川県</p> <p>高畑 芳信 39・5・6 中部リハビリ学院 高岡市</p> <p>金子裕美子 35・10・19 石川県立総合看護学院 石川県加賀市</p> <p>新川さか江 31・10・3 川崎市立高等看護学院 熊本市八代市</p> <p>杉林 雪子 24・8・20 愛知県立高等看護学院 富山市</p>	<p><b>理学療法士</b></p> <p>室田としえ 30・4・22 富山赤十字看護専門学校 氷見市</p> <p>日又 映子 42・11・2 富山第一高校 富山市</p> <p>舟見 香織 42・9・18 泊高校 朝日町</p> <p>佛田 優子 42・9・1 滑川高校 魚津市</p> <p>吉田美和子 24・10・22 新湊市</p>	<p><b>看護助手</b></p> <p>野原かつみ 19・6・13 名古屋医師会 名古屋</p> <p>浅野美知代 40・9・16 高岡女子高校 高岡市</p> <p>仁和真由美 36・1・1 上市厚生病院附属看護学校 立山町</p> <p>金子 昭典 35・2・13 大聖寺高校 石川県根上町</p> <p>宮井 徳彦 35・8・20 日大高岡高校 新湊市</p> <p>坂下 栄子 43・1・28 井波高校 庄川町</p>	<p><b>看護婦</b></p> <p>室田としえ 30・4・22 富山赤十字看護専門学校 氷見市</p> <p>日又 映子 42・11・2 富山第一高校 富山市</p> <p>舟見 香織 42・9・18 泊高校 朝日町</p> <p>佛田 優子 42・9・1 滑川高校 魚津市</p> <p>吉田美和子 24・10・22 新湊市</p>
---	--	---	--

昼食会でお祝い

看護婦、看護婦合格者、西能病院は、看護婦国家試験と、看護婦資格試験に合格したつぎの八人のお祝い昼食会を五月一日、同病院小会議室で開き、西能院長らがお祝の言葉をのべ、励ました。

(看護婦)北浦純子、多胡悦子、土山隆子

(看護婦)小沢優子、黒畑喜美子、平井恵美、山崎真由美、吉田早苗

毎月、誕生会を

西能病院では、毎月一回、職員誕生会を開いている。第一回は四月二十四日、四月生まれの八人。二回目からは第一火曜日にきめた。五月六日は十二人が出席した。

同病院小会議室で西能院長らをお祝い、昼食を共にしながら懇談、健康を祝った。